

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公開番号】特開2007-114231(P2007-114231A)

【公開日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2007-017

【出願番号】特願2005-302351(P2005-302351)

【国際特許分類】

G 02 F 1/13 (2006.01)

G 02 F 1/1335 (2006.01)

G 02 B 3/14 (2006.01)

G 02 B 15/00 (2006.01)

【F I】

G 02 F 1/13 505

G 02 F 1/1335

G 02 B 3/14

G 02 B 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月16日(2008.9.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の電極を備える第1の平板形状の基板と、

前記第1の基板と対向し、第2の電極を備える第2の平板形状の基板と、

前記第1の平板形状の基板と前記第2の平板形状の基板に挟まれ、前記第1の電極と前記第2の電極との間に加えられる電圧に応じて屈折率が変化する液晶層と、
を有し、

前記第1の平板形状の基板及び前記第2の平板形状の基板の少なくともいずれか一方は、平板形状のレンズであり、

前記平板形状のレンズは、回折レンズであり、

前記回折レンズの回折面は、前記液晶層と接する面とは反対側の面にあることを特徴とする液晶レンズ。

【請求項2】

前記第1の電極は、

前記第1の平板形状の基板の前記液晶層と接する面とは反対側の面の中央部に円形に設けられていることを特徴とする請求項1記載の液晶レンズ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の課題を達成するため、請求項1記載の液晶レンズは、第1の電極を備える第1の平板形状の基板と、前記第1の平板形状の基板と対向し、第2の電極を備える第2の平板

形状の基板と、前記第1の平板形状の基板と前記第2の平板形状の基板に挟まれ、前記第1の電極と前記第2の電極との間に加えられる電圧に応じて屈折率が変化する液晶層と、を有し、前記第1の平板形状の基板及び前記第2の平板形状の基板の少なくともいずれか一方は、平板形状のレンズであり、前記平板形状のレンズは、回折レンズであり、前記回折レンズの回折面は、前記液晶層と接する面とは反対側の面にあることを特徴とする。